

平成30年12月定例会一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
1	吉永 浩	議会からの要望書の対応状況について	今年度久米島町議会から町長へ要望書を提出している。町民からの要望として、取りまとめたものとなっている。現在の対応状況をお伺いする。	町長	<p>議会からの5項目に対する要望の対応状況について回答します。</p> <p>1点目のフェリーの車両運賃往復割引及び流通コストの改善につきましては、事業者と意見交換を行いました。大変厳しい返答でありましたが、引き続き意見交換を重ね、取り組んで参ります。</p> <p>2点目の求人情報窓口につきましては、島ぐらしコンシェルジュへ求人情報の集約がなされておりますので、企画財政課に一本化致します。</p> <p>3点目の子育て世代への支援策とし学童保育等の充実につきましては、平成30年度にファミリーサポートセンターを開設し、学童につきましては、次年度開所に向けて取り組んで参ります。</p> <p>4点目の里帰りした生徒が町営塾を利用できないかとの要望でございますが、公営塾を開講した大きな目的は地元からも国立大学、有名私立大学等へ進学できるといった久米島高校魅力化をコンセプトにしており、講師も塾に登録している生徒の進路に合わせたカリキュラムを組み指導していることから、急な対応は難しいとの回答を受けております。</p> <p>5点目の町営バスの運賃・バス停の間隔・運行時間等の見直しにつきましては、地域の実情や実態を踏まえ設定しておりますが、町民ニーズのご要望を真摯に受け止め、現状を検証・分析し検討して参ります。</p>	総務課
2		町有財産の活用について	町有の農地の賃貸収入と売買状況はどうなっているのか。又、今後の農業振興の為には、その管理状況が気になる場所である。現状をお伺いする。	町長	<p>平成29年度実績による農地賃貸収入は、契約件数が約170件で1,600千円となっております。また、売買につきましては、1件で730千円となっております。</p> <p>町有地の賃貸等の相談は随時行っており、規制等の問題がなければ賃貸や売買を行っております。</p>	総務課

平成30年12月定例会一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
3	吉永 浩	Uターン者の移住促進について	久米島高校を卒業して島外に出た、若者のUターンを促進する取組みはあるのか。推進する施策について、町長へお伺いする。	町長	Uターン推進として、久米島高校3年生へ島ぐらしコンシェルジュの活動紹介や、帰郷の多い時期であるお盆時に「Uターン応援キャンペーン」として島内の求人情報をまとめたパンフレットを各家庭に配布しております。	企画財政課
4		効果的な防犯灯について	新設された防犯灯の評価、検証は行ったか。行ったのであれば、その結果をお伺いする。	町長	球美の島エコアイランド化推進事業により整備した防犯灯の評価については、事業目的とする消費電力の低減による二酸化炭素排出量が凡そ321トンの削減が図られたものと試算しておりますので、事業における成果目標は達成できたものと評価しております。 平成29年度に実施した沖縄安全対策事業により整備した防犯灯については、地域や区長の要望等を反映させ設置したものであり、犯罪抑止対策に寄与していると考えております。	建設課 総務課
5	盛本 實	人材育成について	本町においては人材育成の目的で、沖縄県や内閣府、東京事務所等々に、毎年町職員を実務研修として派遣しているが、町職員同様に民間人を対象とした人材育成に取り組む計画はないか伺います。	町長	施策の推進を図るためには、官民が一体となって人材育成に取り組むことが重要であると考えております。 町の施策においては、昨年度から沖縄離島活性化事業を活用した「産業魅力向上プロジェクト」を実施しており、同事業において町内企業のブランディング、企業を担う中核人材の育成を目的としたセミナーや研修会を開催し、町内企業の人材育成に取り組んでおります。 民間人を対象とした人材育成については、引き続きどのような支援・取り組みが効果的か関係機関と協議を行い、取り組んでいきたいと考えております。	総務課
6		漁港施設の適正管理について	本町の各漁港内において廃船の放置が多くみられる。その対策について伺います。	町長	現在、町管理の鳥島漁港に41隻、儀間漁港に10隻の放置船があります。 個人の財産となっているため、処分は個人が行うことが前提となっております。 所有者が所有権を放棄しても、法律上、個人の財産を行政が処分することは出来ない状況です。又、処分に係る経費の補助事業がございません。	産業振興課

平成30年12月定例会一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
7	2 盛本 實	農業基盤の整備について	本町の圃場整備率は83%と県内でも高水準にあるが、かんがい施設の整備率は44%と低い状況にある。農業を振興していく上からも水対策は必須条件と思われるが、今後の整備計画について伺います。	町長	かんがい施設の整備は、干ばつ時の灌水や付加価値の高い作物などに効果が見込まれ、農家の安定生産につながる施設となっております。かんがい施設の整備率向上を図るため、県への整備要望をはじめ、町においても整備可能な事業について土地改良区と連携を図りながら計画調整を行いたいと考えております。	建設課
8	8 喜久里 猛	西銘導水路の文化遺産登録について	西銘導水路は、築400年を越えている。久米島の農産業に多大な貢献をしているが、文化遺産登録の可能性はないか問う。 又、登録された場合のメリット、デメリットはあるか。	町長	ご質問の水路は、白瀬ダムの下から清水小学校の北側までの全長9,396メートルの用水路で、1609年に開通し、当時の稲作には多大なる貢献をしてきましたが、1970年代後半からは土地改良事業による圃場整備で水田から畑に変わったこともあり、利用されないまま一部は土砂に埋もれている状況にあります。文化財への指定については、当時の水路構造物が確認できないことから厳しいものがあると考えております。又、文化財に指定された場合のメリットとして、管理や修復に要する経費の一部を予算の範囲内で補助できる対象となります。デメリットとしては、今後の開発等において、現状を変更する場合に制限されることが考えられます。	博物館
9		具志川浄水場送水管取替について	白瀬ダムから浄水場への送水管は、人力により西銘導水路に添って布設されている。そろそろ取替の時期に来ていると思うが、その準備はしているか。又、今の時代人力工事には無理があると思うが、町はどう考えるか。	町長	現在、町全体の送水管取替時期に来ているため、基本計画を作成しております。平成31年度から32年度において水道事業認可変更に取り組み、平成32年度に委託設計業務を行う予定です。 具志川浄水場送水管につきましては、白瀬ダムからポンプアップを行い道路を利用して布設が出来ないか検討しております。	上下水道課

平成30年12月定例会一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
10	喜久里 猛	車輛燃料の海上輸送費の補助について	県が各離島に実施している。海上輸送費補助は、効果を出しているか。補助実施段階で役場窓口にあったチラシは、いまま効力を有しているか。町は、他離島との燃料代の比較をした事があるか問う。	町長	<p>沖縄県が本土復帰後、揮発油が本土と沖縄との税差が生じないように揮発油税等の軽減措置がなされました。</p> <p>この措置は、復帰後5年または3年ごとに延長が行われており、平成27年度の政府税制度改正において、平成32年5月14日まで軽減措置が続きます。この軽減措置による財源を元に「石油製品輸送等補助事業」として沖縄本島から離島間での流過程の離島特有の経費に対する補助が平成24年3月から実施されており、現在も継続補助されております。</p> <p>他離島との燃料代の比較につきましては、沖縄県ホ-ムペ-ジ上で公表されております。</p>	企画財政課
11	平良 弘光	役場機構改革について	本町はイベントが多様化し、職員の負担が増えてきているが、仮称(町民スポーツ課又はイベント課を新設し、体育協会の事務を含む業務の集約化を図ることはできないか。	町長	<p>現在、効率的で効果的な組織体制とするため、行政組織機構改革検討委員会を設け組織体制の見直しを行っております。その中でイベント関係業務について調査を行い、集約化についても検討してまいります。</p>	総務課
12		防災訓練について	毎年実施されている防災訓練の実施要領を離島が抱える災害時の問題点を原点に訓練計画を作成できないか。	町長	<p>離島としての災害を想定した訓練については、平成22年度までは数年おきに本町を主会場に沖縄県防災訓練と連携し実施してきましたが、東日本大震災後からは市町村ごとではなく、県内を5つのブロックに分けた圏域ごとの訓練を行っております。</p> <p>平成30年度は、那覇市を主会場とした南部圏域が訓練地域となり、本町も災害支援物資搬送や傷病者輸送訓練に参加しております。</p> <p>県防災訓練の主会場としての開催や、本町独自の各種災害対応訓練の実施については、関係機関と協議し検討してまいります。</p>	総務課
13		施設整備について	将来的には400mの全天候型陸上競技場の整備に向けたアンケートなどの事務作業が進められているが、その流れを見ながら簡易的な全天候型トラックやフィールド競技の練習が可能な施設を整備をする必要があるのではないか。	町長	<p>現在、少子高齢化・人口減少問題等に歯止めが利かない状況にある中において、新たな施設を建設するには維持管理等を勸案しますと当面は厳しいと考えております。</p>	企画財政課

平成30年12月定例会一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
14	3平良 弘光	町民運動会について	予備日を設定することはできないか。	町長	町民運動会の予備日を設けることにつきましては、平成28年頃から検討されております。10月は恒例の体育行事が各週末に予定されていることや、予備日開催となった場合の各チームの選手確保が難しいことなどの理由から予備日を設けず現在に至っております。去る11月の監督会におきましても予備日を検討できないかとの要望もありましたので、改めて予備日の設定について町民運動会監督会の意向や他行事日程を踏まえ調整を行う予定であります。	教育課
15	1安村 達明	道路整備について (マンドウ原)	真謝マンドウ原整備については、何度か質問して来たが、実現には程遠い状況だ。 人々が必要としている農道、亡くなった人々を拜むお墓への進路と、この道路は大変意義深い場所ではないかと思われる。 大雨が降るたびに、墓に汚濁や塵がたまり、先祖の人々に恨まれかねないと話しておりますが、町は農道としての費用対効果の答弁だけだが、お墓の問題は注視していないのか。 その場所にお墓を持つ人々は、納税義務もきちんと果たしているのに不幸だと話しており、私はお墓とは尊重にあたいする場所だと思うが見解は。	町長	マンドウ原の整備については、整備費が高額となることから町単独事業による整備が厳しい場所となっております。補助事業による整備を模索してまいりましたが、これまでご説明したとおり現時点において補助事業の採択要件が満たされず、事業化に至らない状況にあります。 お墓については、ご先祖への感謝や供養、そして末代の繁栄を願う場所でもありますので、道路の浸食等によりお墓参りに影響が出ないよう、当面は補修にて対応していきたいと考えております。	建設課
16		道路認定と車線(幅員)について	以前から、道路整備の質問をすると、何度も出て来るのが道路認定の答弁だが、認定する基本的な手続き等について、詳しく説明を又、車線(幅員)についても伺う。 町は、農道、町道、整備の時、県とどのような調査や調整を行い車線や幅員をきめているか説明を。	町長	町道の認定は、道路法に基づき一般交通に供する道路になりますが、構造については道路構造令に準ずるものとなり、町道に認定する場合は、あらかじめ議会の議決を必要とします。 農道の要件には、農道台帳の作成対象として、県道や町道に結ぶ道路幅員1.8メートルから4.0メートル、県道や町道に認定された道路以外を農道として認定することができます。 町道や農道における未整備および改修が必要な道路の整備にあたっては、基本とする道路要件や、経済効果に合う事業計画を策定し、県のヒアリングや現地確認等を行った後に、県の内定を受けた路線について、国及び県に事業申請を行い、審査、採択等の手続きを経て整備が可能となります。	建設課
17		クシ原(真謝農道45号)の舗装について	県からの内示額によって、事業工期の延長も考えられるとの答弁でしたが(29年度)今年か来年度までには対応出来るか伺う。	町長	今年度、平成30年度において設計を完了しますので、整備については平成31年度において実施する予定となっております。	建設課



平成30年12月定例会一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
18	1 安村 達明	災害防止について	仲里多目的グラウンド照明落下について、非常に危機感を持っている。一昨年程前から台風時に何個かの照明燈が落下しており、危険だ。 何ヶ月か前に課長に話したらグラウンドの照明は撤去するとの話だったが、いつ頃の予定か説明を。	町長	今議会の12月補正にて予算計上しております。議会承認後は速やかに照明器具の撤去を実施いたします。	環境保全課
19	7 仲村 昌慧	胃がん対策について	胃がんの発生には、食生活や喫煙・ピロリ菌の感染が原因として深く関わっているといわれている。本土のある自治体では、胃がん撲滅を目指して、ピロリ菌感染検査の費用補助を行っている。本町でも胃がん対策として検査の費用補助をすることができないか伺う。	町長	ピロリ菌の感染については、井戸水や自然水の飲料による感染、またピロリ菌保持者例えば菌保持者である両親や家族から乳児への口移しで食事を与えたことによる経口感染などが主な原因と言われています。 現在の本町の上水道環境から見たところ、井戸水や自然水からの感染はほぼないものと考えます。 統計的にみましても、沖縄県における胃がんでの死亡率は全国最下位であり、本町においても近年3年間で1～5人以下と極めて低い状況であることから、胃がん対策としてピロリ菌検査の費用補助は予定しておりません。	福祉課
20		航空運賃・船運賃の割引について	航空運賃の小児運賃・障がい者割引運賃、フェリーの片道運賃割引については還付方式となっているが、切符購入時に割引きできる方法が取れないか伺う。	町長	航空・航路運賃の軽減については、事業開始にあたり県・事業者と議論や協議を重ね還付方式での実施に至っております。 購入時での割引きが行えれば、利用者サービスの向上に資するすと考えますが、事業者負担を伴う事から購入時での割引きについては厳しい状況であります。	商工観光課

平成30年12月定例会一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
21	仲村 昌慧	子ども議会について	<p>11月6日に開催された子ども議会の感想と次年度以降、継続開催することについての見解を町長・教育長に伺う。</p> <p>次に、子ども議会の質問の中で、街灯の設置に関する質問があったが、以前、仲泊地区からホタルドームまでの区間をフットライトの設置について質問したことがある。この区間は通学路でもあるので、暗い箇所の街灯の設置は必要であると考えるが、町当局の見解を伺う。</p>	<p>町長</p> <p>教育長</p> <p>町長</p>	<p>子ども議会は、本町の将来を担う子どもたちが、自分の住む町に関心をもつと共に、子どもの視点からの意見を今後の町政運営に反映できることは、非常に有意義なことと考えております。</p> <p>子ども議会に参加しての感想から述べたいと思います。今年度初めて開催された「子ども議会」ですが、リハーサル時には多少緊張していた生徒たちが、本番では議長を務めた生徒を始め全員が、堂々と自分の思いをしっかりと質問できており、大変感心致しました。また、学校の授業で学習している「議会のしくみや役割」、「役所の仕事」などについて、実際の議場で、議員として体験できたことは、学習への意欲と理解、そして政治への関心を深めることにつながってくれるものと期待をしております。</p> <p>次に、次年度以降も継続開催されることになりましたら、教育委員会としましても、今年度同様に学校及び議会事務局との事務調整等の役割をしっかりと行って参ります。</p> <p>フットライトの設置については、昨年度、沖縄県をはじめ事業所ほか関係機関に確認等を行いながら検討してまいりました。</p> <p>フットライトの設置には、灯具間を連結する配線を歩道下に埋設する必要があります。さらに、歩道上への変圧器の設置、整備費用のコスト高や、事業者の費用負担などが課題となっておりますので、当該区間については、補助事業による防犯灯の設置を関係課と連携しながら検討してまいります。</p>	総務課 教育課 建設課

平成30年12月定例会一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
22	10 玉城 安雄	施政方針の中から総合計画の推進について	<p>6月定例会においては観光の振興、生活基盤の整備の中から質問しました。今議会においては総合計画の推進、商工業の振興から質問します。</p> <p>第2次総合計画の実現に向け様々な問題に対応していくため官民協働の町作りを行い、それぞれが自分事として捉え既存組織の枠を超え、一歩踏み込んだ取り組みが促進されるよう推進体制の充実を図るとしている、住民、行政、議会が連携して総合計画の実現に向け取り組んでいるドリープチャレンジについて当局の見解を伺う。</p> <p>3月定例会で、基本構想、基本計画に沿って予算配分した実施計画を策定し、次年度公表するとの答弁だったが進捗状況は。</p>	町長	<p>今後の人口減少、少子高齢化問題等、山積している課題を一つ一つ解決していくには議会、町民のご理解、ご協力が無ければ歯止めが利かない状況まで来ております。</p> <p>その中におきまして、ドリ - 部チャレンジが昨年、沖縄県地域づくり奨励賞を受賞し、先日行われました日本最大の政策コンテストであります「第13回マニフェスト大賞」に全国から2,242件が応募する中、審査委員特別賞を受賞するなど高い評価を受けておりますので、今後も同部の活動がさらに広がるよう共同で諸問題解決に取り組んで参ります。</p> <p>10月上旬に各課長、班長を中心に予算編成説明会を開催し、現在、各課からの予算要求を終え、実施計画に沿った要求内容になっているかチェックをおこなっている段階であります。</p> <p>今後、各課とのヒアリングの中で実施計画との整合性を図り、3月定例議会においてご説明させていただく予定で作業を進めております。</p>	企画財政課
23		商工業の振興について	<p>商工業の振興は、農林水産業、観光の振興とともに本町の経済の活性化に欠かせない重要な位置にあると認識している。そこで何点か伺う。</p> <p>本町予算において商工業関連の様々な振興策が掲げられているが、商工費、公共事業費等の割合についてどのように捉えているか伺う。</p> <p>国指定の重要無形文化財である久米島紬の振興や保存継承についてどのように考えるか伺う。</p>	町長	<p>商工費については、本年度当初予算ベースで、1億5,571万1千円となっており、一般会計予算総額の2.3%となっております。その他、総務費において国や県の補助事業を活用した商工費予算として、1億5,975万9千円を措置しております。</p> <p>総務費や民生費、農林水産費や土木費と比較すると、義務的経費や扶助費等が少なく、ハード事業を伴わない商品開発や販路開拓、人材育成等のソフト事業を中心に、町の商工・観光産業の振興に取り組む予算を確保しております。</p> <p>久米島紬の振興・保存継承については、主体的に担う久米島紬事業協同組合や久米島紬保持団体を支援、連携を図りながら取り組んでおります。振興や保存継承における直面課題である販路拡大・開拓、後継者育成について引き続き支援を行いながら、取り組んで参ります。</p>	商工観光課



平成30年12月定例会一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
24	赤嶺 秀徳	農道の整備について	農業基盤である土地改良事業等は、大幅な進展を見せてはいるものの、それに伴う農道の整備が不十分であると思われる。特に字儀間や嘉手苅集落の北側の土地改良区は県道に通じる縦の農道は舗装されて整備されているものの、それに交差する横線の農道の大部分が被舗装のジャリ道であることから、長年の雨の影響により、道路表面が剥ぎ取られ凹凸が激しく通行にも支障がある。農家の方々からアスファルト舗装の対策を取ってほしいとの強い要望があるが舗装することは可能か伺う。	町長	未舗装農道については、ご質問の地区を含め多く存在しておりますので、順次整備する計画でございます。 農道などの整備は、農業農村基盤整備事業ほか、補助対象事業に申請を行いますが、経済効果などの採択基準や条件等において評価の高い農道から採択されます。 近年、沖縄県の事業予算が縮減するなか、事業採択が厳しさを増しており、今後の整備にあたっては新たな整備計画が必要となっております。 今年度、本町の農業農村基盤整備事業の新たな計画の策定に向けて作業を進めているところでございます。策定後は、実施計画に基づき年度毎の事業化に向け計画的に取り組み、農道など基盤整備の推進に努めてまいります。	建設課
25		儀間漁港の整備について	現在、儀間の漁港では防波堤の工事と岸壁の工事が行なわれている。最近の儀間漁港は、漁船の大型化と若い漁業従事者が増えたこと、更には他地域からの参入者が増えて来た事などから船の係留場所の確保が難しい事や台風時期の船の陸上げ場所等も狭く、台風対策にも支障が生じ苦慮している状況にある。他の漁港を利用することも可能ではあると思うが、経済上の問題と地域性から他港の利用は控えている状況にある。儀間漁港は、県内でも上位にランクされる水揚の実績があるとの漁協関係者からの話もある。久米島の漁業活性化の観点からも漁港南側への拡張等の整備が必要であると思うが町としての見解を伺う。	町長	儀間漁港において、現在、機能保全事業を実施しているところでございますが、近年、漁船の大型化が進み泊地が狭隘化する状況に鑑みて、漁港の拡張について検討する必要があると考えております。現状においては南側への拡張を検討する必要があると思われませんが、しかしながら、南側については海岸保全区域となっており、これまでに高潮対策として階段式護岸工事、儀間漁港海岸整備工事を実施していることから、各種条件等に照らし合わせながら検討してまいりたいと存じます。	建設課
26		横領事件について	今回発生した横領事件の進捗について現時点で事件の公判はどの様に推移しているか。2点について伺う。 (1) 刑事事件の進捗状況について (2) 民事事件の進捗状況について	町長	刑事事件については、11月21日の第3回公判において私自身が「厳重な処罰と一日も早い損害の回復を求める」意見陳述を行いました。検察側が懲役5年を求刑し結審しました。判決は12月17日に言い渡される予定となっております。 民事事件については、8月21日の第一回口頭弁論後、2回の準備手続を行っておりますが、和解はしないこととし、預かり品の処分等は町が行うとの合意書を取り交わしております。次回は12月11日に準備手続を予定しております。	総務課

平成30年12月定例会一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
27	赤嶺 秀徳	小中学校普通教室への空調設備について	小中学校の普通教室への空調設備(クーラー設置)についてはこれまで3回程質問しました。又、こども議会でも質問がありました。 マスコミによると政府は、全国の公立小中学校へのクーラー設置を進める自治体を財政支援するため約1千億円の臨時交付金を新たに創設し、2018年度補正予算に盛り込む方針を固め、クーラー設置に800億円を充て、来年夏までに希望する全ての小中学校での整備を目指す。との報道がありました。この様な政府の千載一遇の取組みについて、町はどの様に望むのか見解を伺う。	教育長	ご質問にありますように、国は今年度補正予算で空調設備の設置について臨時交付金を創設しております。10月中旬から交付金活用の意向調査、概算事業費額調査があり、当初予定よりも前倒して事業実施ができるよう要望、要求を行いました。 予算計上につきましては、現在、国が交付要綱等を作成中のため具体的な手続きは始まっていませんが、交付要綱の作成状況により、今年度中に計上を予定しています。	教育課
28		資材置場ヤードの設置について	土木関係者等から、町管理に係る資材置場ヤードを設置してほしいとの要望がある。関係者によると工事のほとんどが町発注の公共工事であり、公的な資材置場があれば受負業者個々による新たな置場を求める必要もなく、更には、資材や土砂等の再利用が可能となり予算も縮小されるものと思われるが、公的なヤードを設置することは可能か伺います。	町長	事業者の資材置場ヤードの確保については、運搬費、借地料など工事に間接的に係る費用などを共通仮設費にて計上しておりますので、これまで通り事業者において確保していただきたいと存じます。 資材や土砂等については、再利用可能なものについては確保しており、補修工事などに利用しております。	総務課 建設課
29	喜久村 等	防風林について	本町においても、11月第四木曜日は防風林の日として、イベント等開催されています。 これは大変いい事ですが、北真謝原の防風林・防潮林は一度植樹されたが、その後の手入れはなくほとんど全滅の状態であり、再度植樹をする事はできないか伺う。	町長	当地区は、平成15年度から平成18年度に沖縄県により保安林改良事業で実施されています。植え付けから数年は施肥及び下草刈りを実施していましたが度重なる台風により災害が発生、沖縄県南部林業事務所には、現地の被害調査を行うよう依頼いたしました。	環境保全課
30		豚舎について	農家においては、豚の生産農家になりたいが、豚舎の規模が小さいので、大きくしたいが、牛舎、山羊舎みたいな補助事業はないか伺う。	町長	豚舎建設の補助事業につきましては、畜産クライスター事業が該当します。協議会の事務局がJAおきなわ久米島支店となっておりますので、事業導入の場合は農家・役場・JAも含めて調整が必要となります。	産業振興課

平成30年12月定例会一般質問回答書

議席 番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
31	12翁長 学	平成31年度の町の助成金について	現在、農業関係に、町から多くの助成金が補助されている。 そこで、平成31年度の助成金について、今年度通りの助成率は、変わらないか。 さとうきび共済 家畜共済 家畜導入事業、自家保留 その他の事業	町長	平成31年度の農業関係の助成につきましては、 さとうきび共済が35%の助成。 家畜共済も35%の助成。 優良雌牛導入事業は、県内10頭、県外70頭の合計80頭。自家保留牛は78頭の助成。 優良豚導入は、15頭の助成。 その他の事業としては、さとうきび病害虫防除事業、干ばつ・かん水対策事業、甘しょの病害虫駆除、園芸施設共済、緑肥種子購入助成事業、土作り対策促進事業、堆肥購入助成、優良雌山羊導入事業等を予定しております。	産業振興課
32		町内の安全対策について	町の一般会計予算に安全対策として、カーブミラー等の予算が、毎年計上されている。そして、道路、施設等のこわれた箇所があった場合、町民、区長を通じて役場に報告し、各課で対処している。しかし、小さい危険箇所は、見逃されがちである。 特に高齢者は、杖や押し車を押しながら、歩行している。高齢者から見た危険箇所は、どう対処しているか。 高齢者は、意見を言いにくいと思う。高齢者の意見を聞く機会を持った方がいい。	町長	高齢者の安全対策は重要であると認識しております。 高齢者の意見を反映した安全対策については、老人クラブや関係機関などと協議し、どのような取り組みが可能なのか検討してまいります。	総務課